

日本共産党のえんど久子市議に市長答弁

安心安全のまちづくりに真剣に取りくむ



宮城県東松島市の瓦礫と化した住宅地。
2011. 5. 27.

6月21日、市議会一般質問で猿渡（えんど）久子市議は、5月に訪れた被災地宮城県での支援の経験を紹介し、「痛苦の大災害の教訓を活かし防災の強化を」と求めました。

被災地の声を生かすために

えんど久子市議は、「学校の体育館より、地域の集会所のほうが顔が見えて細かく行き届く。プロパンガスが
使えて、家庭から持ち寄った食材で温かいものが出せた」という塩竈の女性の話を紹介し、「町内公民館の役割は

重要だ」と主張。耐震化など防災の強化を求めました。



宮城県塩竈市の日本共産党の地区委員会前にて。日本共産党塩竈市市議団と大分のメンバーら。手前右がえんど市議。 2011. 5. 27.

市民と行政が力をあわせて

市は「国や県の見直しに沿って防災計画を見直したい」と答弁。浜田市長は、「防災の強化は喫緊の課題。市民と行政と一体になつた取り組みが必要だと考える。安全安心のまちづくりに真剣に取り組んでいきたい」と答弁しました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.471
2011. 7. 5.

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

日本共産党のえんど久子市議が要求

福祉避難所の充実を

「避難所には行けん」という声を紹介し

障がい者や高齢者の避難所として現在14ヶ所の施設と協定を結び、受け入れていただけるようになっていきます。

猿渡（えんど）久子市議は、「ある障がい者の方から、災害があっても

一般の避難所には避難できない。ここで死ぬしかない」と訴えられたことを紹介し、「14ヶ所ありがたいが、遠くでは行きにくく近くに必要だ。さらに充実を」と求めました。

共産党が求めて5年前に実現

市は「今後、介護保険施設などと協定が可能かどうか調査研究したい」と答弁しました。

この障がい者・高齢者のための避難所は、野田のり子市議が障がい者の方の声を紹介し主張して、5年前に実現したものです。さらに、充実させるため今後とも、一緒にがんばりましょう。



神楽女湖の花しょうぶ
2011. 6. 29.

別府市議会のホームページで過去の市議会の映像が見られます。ご覧ください。

親亡き後も安心のグループホームがほしい

また、えんど市議はと質問。

「障がい者のためのグループホームを計画しているが土地の確保などに苦労している社会福祉法人に対し、市の土地を提供（無償貸与）できないか」

「関係団体等と連携し居住の確保に努めたい。市有地の無償貸与は行政としての公平性を考え対処したい」と答弁しました。